

## 2020年度第1回教育イノベーション大会運営委員会議事録

- I. 日時 令和2年7月6日(月) 17:00~19:00  
場所 Zoom 会議室
- II. 出席者 向殿委員長、望月委員、今泉委員、川村委員、大島委員、阿部委員、小林委員、原田委員、岩井委員、寺田委員、尾崎アドバイザー、木村アドバイザー  
事務局：井端事務局長、野本
- III. 検討事項
1. 2020年度私情協教育イノベーション大会の開催要項について、以下のような検討を進めた。
- (1) オンライン開催について
- この時期なので、リモートでの実施が良いと思う。直前で変更するより、事前に準備した方が良く、これしかないと思う、参加を許さない大学がでる可能性があるなどの意見により、一般参加者については、オンライン開催とすることにした。
- (2) 「大学教育の質向上を加速するデジタル変革を考える」のテーマ及び開催趣旨を確認し、過不足なく広く網羅されていることで、承認された。
- (3) 1日目全体会について
- 午前中3件、午後4件の講演が提案され、9:50~17:00の中で時間設定を含め確認した。
  - オンラインで一日視聴する設定は、つらいのではないかと意見があったが、アラカルト方式で全てを視聴する必要はないことから、聞きたい話を選んで聞けるメリットも考えられる。また、事前に資料を送ってもらえると良い。
  - 講演内容についても確認し、原案で講師を調整することにした。
- (4) 2日目オンライン・テーマ別意見交流について
- 午前中に4つの分科会を設定し、教員向けと職員向けをイメージした。昨年までのポスターセッションの代わりに、13時からの1時間枠で大学企業連携の事例紹介を1社15分設定で行うことにした。午後は、3分科会を設定した。原案をもとに講師を調整することにした。
  - 分科会Aについて、オンライン授業には興味があると思われ、オンライン授業での評価の問題についても取り上げてはどうかとの意見があり、委員から講師を調整することにした。
  - オンラインの問題として、オンライン授業では反応がないことがデメリットであり、参加している雰囲気を出さずかが問題ではないか、現場で質問用紙を配ることへの代替はないか。例えば、チャットを開放し、意見等を流すことで盛り上がり感を出せないか、ただし、全部の書き込みで回答することは行わないと最初にアナウンスを行うことで検討してはどうか。
- (5) その他の検討について
- 参加費を前年の方式から変更し、3日間通しの設定で、大学単位、個人単位で参加費の金額設定を行い、大学単位は、同時接続数の心配から目安10名としている。設定した金額で収支が取れるのかとの質問があったが、前年の参加実績から設定はしたが、見通しは不明であろう。
  - Zoomの録画機能により講演を蓄積することにしており、見逃し配信のようなサービスを考えており、後からみられるということは大きなメリットになるとの意見があった。
- IV. 今後のスケジュール
- 次回の運営委員会は、発表者確定と役割分担について検討することにし、7月末の開催を予定してネットでスケジュール調整することにした。